

法人（事業所）理念		★愛と輝きに満ちた支援で、お子様の成長と未来をサポート★ 【アイブライト】の社名の通り、関わるすべての人々が愛情に満ち、輝きながら未来に希望を持てる温かな環境を提供。 【みんと】の事業所名に込めたように、お子様一人ひとりの個性を大切にし、ハーブのように逞しく生きる力を育む。 療育の専門的な資格と経験を持つ職員が、お子様の個性に寄り添い、心温かくサポート。個別や集団活動を通じて、「できた！」という瞬間を大切にし、小さな成功を積み重ねて自信と力を育む。保護者様とは密に連絡を取り、お子様の成長を共に見守りながらの安心したサポート。											
支援方針		★お子様の成長を支える専門的な支援と温かなサポート★ ①個別＆集団活動で感覚統合アプローチ お子様一人ひとりの感じ方に寄り添い、感覚統合の視点を取り入れた多彩なオリジナルプログラムで、心身の成長をサポート。 ②資格と経験豊富なスタッフ 保育、教育、療育に関する資格を持ち、豊富な現場経験を積んだスタッフが連携し、専門的なプログラムを通じて、安心できる支援。 ③スモールステップでの支援 小さな一歩一歩を大切にし、お子様が自信と達成感を感じながら成長できるよう、スモールステップで支援。 ④保護者様へのサポート 学習会や面談、交流会、日々のコミュニケーションを通じて、保護者様に療育の専門的な視点からアドバイスを行い、お子様の成長を共に見守りながら温かく手厚いサポートを提供											
営業時間		9 時		30 分から		17 時		30 分まで		送迎実施の有無		なし	
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	●目的 お子様が毎日の生活で必要な基本的な動作や健康習慣を楽しく身につけ、少しずつ自分でできることを増やせるようサポートする ・毎日のことにチャレンジする：おやつを食べる、トイレに行く、お着替えをするなど、繰り返し行う活動にスモールステップで取り組み、成功体験を重ねていく。自己肯定感を育て、次のステップに挑戦する意欲を高める。 ・できることを増やす：毎日少しずつできることを増やし、自分の力で達成する喜びを感じる。その成功体験を通じて、自信を深める。 ・生活に規則を持たせる：身の回りを片づける、決まった時間に活動することで、生活のリズムを学ぶ。これにより、日常生活をコントロールする力を育む。 ・清潔を保つ習慣をつける：歯みがきや手洗い、髪を整えるなど、身だしなみを通じて健康を保つ力を育てる。 ●内容 ・水分補給：定期的な水分補給を促し、自己管理の習慣をつける。 ・トイレトレーニング：トイレサインに気づき、排泄を自分でできるよう支援する。 ・衣服の着脱：服の着脱の手順を覚え、ボタンやファスナーを使えるよう練習する。 ・服やタオルをたたむ：服やタオルをたたむ習慣を身につけ、整理整頓を学ぶ。 ・身だしなみ：身だしなみを整える方法（髪のをを整える、歯みがき、手洗い、鏡で身だしなみをチェックなど）を教え、清潔を保つ習慣を育てる。 ・整理整頓：使った教具や自分の持ち物を片付け、整理整頓を習慣づける。教室の構造化された場所で、物を所定の場所に戻す方法を練習する。 ・おやつのマナー：おやつや食育の時間に、「食事のマナー」「スプーン・お箸・食器の使い方」「食べ物を適切に扱うこと」等を学ぶ。											
	運動・感覚	●目的 運動能力と感覚を活かした遊びを通じて、日常生活に必要な基本的な動作を楽しく学び、少しずつ自分でできる力を育てる ・運動能力の向上：子どもが全身を使った運動や微細な手指の動きを通じて身体能力を高める。 ・感覚統合の促進：五感を刺激する遊びを通じて感覚統合を助け、感覚の発達を支援する。 ・生活動作の向上：日常の動きや姿勢をよくし、食事や着替えなどの基本的な動作を自分でできるようにする。 ●内容 ・感覚統合の教具を使った遊び：遊具を使って、体全体を使った運動や感覚刺激を行い、運動能力や感覚統合を促進する。 （感覚統合教具➡ボール、トランポリン、トンネル、パラバルーン、マット、階段、巧技台、ゆらんこ、フープ、跳び箱、的当て、輪投、スカーフ、カラーロープ、平均台、楽器等） ・感覚統合遊び：ムーブメント、リトミック、音楽療法などで五感を刺激し、感覚統合を促進。お子様は体を動かしながら、異なる感覚情報を統合する力を養う。 ・運動活動：リズム体操、サーキット運動、縄跳び、マット運動、ミニ運動会など、楽しみながら身体を動かし、運動能力を高める活動。 ・感触遊び：触覚を使った遊びを通じて手先の感覚を養い、感覚統合を促進。（新聞紙遊び、アルミホイル遊び、スライム遊び、粘土遊び、水遊び、オイルボトル遊び、風船遊び等）											
	認知・行動	●目的 遊びや活動を通じて、考えたことを体を使って実行する力を育てる ・認知機能の発達を促し、状況に応じて行動できるようにサポートする。 ・集中して遊びながら、物の使い方や順番を覚え、日常生活に役立つスキルを育てる。 ・みんなで遊びながら、順番を守ったり、気持ちを伝えたりして、感情をコントロールし、友だちとの関わり方を学ぶ。 ●内容 ・ルールに基づいたゲーム：ルールを理解し、それに従って行動する活動。鬼ごっこやかくれんぼを通じて、認知力と行動力を養う。 ・パズルや形合わせゲーム：形や色、サイズを認識し、正しい場所に合わせる。認知力と手を使った行動が連携する活動。 ・迷路や道をたどる遊び：迷路や道をたどることで、空間認知力と体を使った行動を結びつける。方向確認や道を選ぶ力を養う。 ・色や形を使った分類遊び：色や形を認識し、それに従って物を分類する。認知と行動を組み合わせた活動。 ・模倣遊び：大人や友だちの行動を真似ることで、認知力と行動を連携させ、他者の動作を理解して実行する。 ・音楽と動きの合わせ遊び：音楽のリズムに合わせて体を動かす。音の理解と体の動きをリンクさせる活動。 ・感覚統合遊び（触覚、視覚、聴覚）：感覚を使って体を動かす遊び。視覚や聴覚を使って行動を選択し、反応を調整する。 ・お絵かきや造形遊び：形や色、バランスを認識し、それを描いたり作ったりする活動。認知した情報を行動として表現する。											
	言語コミュニケーション	●目的 言語理解と表現力を高め、自分の気持ちを伝えるためのコミュニケーション力を育む ・言語理解と表現力の向上：言葉を理解し、自分の思いや考えを伝える力を育てる。 ・コミュニケーション能力の向上：相手の意図を理解し、会話を進める力を養う。 ・非言語コミュニケーションの支援：表情やジェスチャーを使って、言葉以外の方法でのコミュニケーション力も育てる。 ・社会的スキルの発展：集団遊びやルールを守ったゲームを通じて、協力やルールの理解を深める。 ・音韻と語彙の発達：音楽療法やリズム遊びを通じて、言葉と音韻を結びつけ、言語発達を促す。 ・表現力の強化：自分の思いを言葉やジェスチャーで表現する力を育てる。 ●内容 ・手遊び、楽器遊び：言葉やリズムを使って、表現力と理解力を高める。 ・絵本の読み聞かせ：絵本を通じて、言葉や物語の意味を理解し、登場人物や出来事について話すことで言語力を伸ばす。 ・音楽療法・リトミック等の音楽活動：音楽活動では、リズムを通じて、言葉の音韻や発音を意識し、言語発達を支援する。 ・おままごと遊びやごっこ遊び：役割を演じながら、相手に自分の気持ちや意見を伝える練習をする。 ・言語教材を使用した学び：構文カード・言葉カード等➡言葉の意味や指示に従う力を育成。オノマトベ絵カード➡ジェスチャーとことばを結びつけて表現していく。 ・体を使った表現遊び：「悲しい」「嬉しい」「怒っている」などの感情を表情や動きで表現し、その後、言葉で説明する練習。 ・簡単な集団遊びやゲーム：ルールを守りながら遊ぶことで、協力やコミュニケーションのスキルを学ぶ。 ・SST（社会的スキル訓練）：日常生活を想定したロールプレイで、実際の状況に即した簡単なコミュニケーションを練習する。 ・簡単な質問応答：自分の名前や好きな食べ物など簡単な質問に答えることで、言葉で表現する力を養う。 ・絵を使った表現：自分の気持ちや考えを絵やシールなどで表現し、それを他の子どもや大人に伝える。 ・感情カード遊び：感情を示すカードを使い、自分の気持ちを言葉で伝える練習を行う。											
人間関係社会性	●目的 遊びや活動を通じて、順番を守ったり、協力したり、助け合ったりすることで、友だちとの関わり方を学び、みんなで仲良く過ごす力を育てる ・グループ遊びや共同作業を通じて、協力しながら楽しみ、チームワークや社会的スキルを学ぶ。 ・感情カードや役割遊びで、自分の気持ちを伝える練習をし、コミュニケーション力を高める。 ●内容 ・サーキット遊び、ムーブメント、ミニ運動会、音楽活動等：順番を守り、みんなで一緒に活動を楽しむ。ルールを学び、友だちとの協力を育む ・ごっこ遊び（お店屋さん、ままごと他）、レクリエーション：役割を理解し、友だちとの関わりを深める ・グループ活動、共同作業：集団遊びや製作を通じて、協力して活動する ・感情カード、ロールプレイ：自分の気持ちを理解し、適切に伝える練習をする ・挨拶、ブロック遊び、電車、ミニカー等のおもちゃの共有遊び、おやつの時間、片付け：日常的なやりとりを通じて、社会的なルールを学ぶ ・チームゲーム（ミニサッカー、ゲーム盤、カードゲーム、パラバルーン、玉入れ等）：協力や共感の大切さを実感し、友だちとのつながりを深める												

支 援 内 容			
家族支援	●保護者支援の方針 ①保護者様との連携 保護者と定期的に連絡を取り、支援状況やお子様の成長を共有し、協力関係を築く。 ②相談対応 保護者の悩みや疑問に対して、適切なアドバイスや支援方法を提供。 ③情報提供 お子様の発達や支援方法について、保護者が活用できる情報を提供し、支援力を高める。 ④サポート体制の構築 保護者様が困った時にいつでも相談できる体制を整え、柔軟にサポートを行う ●保護者支援活動と情報提供の実施例 定期的な面談、日々のお子様の状況の共有、連絡帳のやり取り、ペアレントトレーニングなどの保護者学習会、保護者交流会、ワークショップ きょうだい支援としての、子育てサロンの開催。 保護者通信、冊子などの発行	移行支援	●お子様一人ひとりに寄り添った移行支援 ・保護者様のご要望に応じて、こども園・幼稚園・学校・関係機関と連携し、お子様に最適な支援方法を共有する。 ・お子様が新しい環境に安心して適応できるよう支援し、不安を軽減する。 ・保護者様の不安を解消し、支援方法や進捗をしっかりと共有することで、スムーズな移行をサポートします。事業所で学んだ内容を家庭でも実践できるよう、学習会や送迎時に必要な情報を提供。 ・一人ひとりの発達をサポートし、支援が途切れないよう繋げる。 ●連携先について ・幼稚園、こども園、学校との連携 ・相談支援事業所との連携 ・その他、関係機関との連携 ●実施方法の例 保護者様のご要望に応じて、訪問・連絡会や会議・個別支援計画書や電話や文書のやり取りなどによる情報共有
地域支援・地域連携	●地域とのつながりを大切に活動 ・地域住民との信頼関係を築き、地域のニーズに応じた児童発達支援を提供。 ・事業所の活動を地域に知ってもらい、地域社会とのつながりを深める。 ●実施例 ・交流や情報交換・行事の参加 (地域ボランティアさん、地域の学校・こども園・幼稚園・保育園、障がい者交流センター・医療機関など) ・定期的に市内の連絡会に参加して、情報共有や研修の機会があるため、児童発達支援における地域交流を深めている。 ・子育てサロンの開催・避難訓練での関わり・事業所周辺の清掃・職員による公共機関などでの研修や講演会の実施。	職員の質の向上	●研修のねらい ・専門的な知識やスキルを向上させ、質の高い支援を提供できるよう努める。 ・外部の専門家による研修で得た内容は、事業所内で共有し、職員全員が学びを深めていく。 ・事業所内でも、各自の専門性を活かし、質の高い研修を実施。 ・日々のミーティングで療育課題や成果を共有し、意見交換を通じて職員の専門性を高め、チームとして協力しながら支援を進めている。この積み重ねも研修の一環として実践的な学びを深めている。 ●研修の内容 ・言語アプローチ、リトミックの実践、食中毒、ガイドライン読み合わせ、障がい特性、個別支援計画書、児童の人権関係、食物アレルギー
主な行事等	●行事のねらい ・お子様が季節ごとの行事を通じて様々な経験をして、感性や社会性を育むことを目指している。 ・行事を通して、コミュニケーション能力や協力、役割分担を学んでいる。 ・季節行事を通じて、療育専門職が個々の発達に合わせたプログラムを提供し、子どもたちがいつもと違う楽しさや特別な体験を感じながら成長できる支援を行う。 ・季節の変化を感じながら、行事を通じて文化を学ぶ機会を提供する。 ◆季節行事の例◆お正月行事、節分行事、ひな祭り行事、事業所の卒業式、子どもの日の行事、母の日や敬老の日のプレゼントづくり、歯の健康促進イベント、七夕行事、夏祭り、水遊び、ミニ運動会、おにぎりパーティ、秋祭り、ハロウィンパーティー、クリスマス会他 ◆通年のイベント行事例◆お店屋さんごっこなどの各種ごっこ遊び、協同製作、お買い物体験、宝探しゲーム、避難訓練（火災、風水害、地震、不審者侵入などを想定）、入学や入園に向けて必要な社会的スキルを育てるSST		

支 援 内 容			
家族支援	●保護者支援の方針 ①保護者様との連携 保護者と定期的に連絡を取り、支援状況やお子様の成長を共有し、協力関係を築く。 ②相談対応 保護者の悩みや疑問に対して、適切なアドバイスや支援方法を提供。 ③情報提供 お子様の発達や支援方法について、保護者が活用できる情報を提供し、支援力を高める。 ④サポート体制の構築 保護者様が困った時にいつでも相談できる体制を整え、柔軟にサポートを行う ●保護者支援活動と情報提供の実施例 定期的な面談、日々のお子様の状況の共有、連絡帳のやり取り、ペアレントトレーニングなどの保護者学習会、保護者交流会、ワークショップきょうだい支援としての、子育てサロンの開催。 保護者通信、冊子などの発行	移行支援	●お子様一人ひとりに寄り添った移行支援 ・保護者様のご要望に応じて、こども園・幼稚園・学校・関係機関と連携し、お子様に最適な支援方法を共有する。 ・お子様が新しい環境に安心して適応できるよう支援し、不安を軽減する。 ・保護者様の不安を解消し、支援方法や進捗をしっかりと共有することで、スムーズな移行をサポートします。事業所で学んだ内容を家庭でも実践できるよう、学習会や送迎時に必要な情報を提供。 ・一人ひとりの発達をサポートし、支援が途切れないよう繋げる。 ●連携先について ・幼稚園、こども園、学校との連携 ・相談支援事業所との連携 ・その他、関係機関との連携 ●実施方法の例 保護者様のご要望に応じて、訪問・連絡会や会議・個別支援計画書や電話や文書のやり取りなどによる情報共有
地域支援・地域連携	●地域とのつながりを大切に活動 ・地域住民との信頼関係を築き、地域のニーズに応じた児童発達支援を提供。 ・事業所の活動を地域に知ってもらい、地域社会とのつながりを深める。 ●実施例 ・交流や情報交換・行事の参加 (地域ボランティアさん、地域の学校・こども園・幼稚園・保育園、障がい者交流センター・医療機関など) ・定期的に市内の連絡会に参加して、情報共有や研修の機会があるため、児童発達支援における地域交流を深めている。 ・子育てサロンの開催・避難訓練での関わり・事業所周辺の清掃・職員による公共機関などでの研修や講演会の実施。	職員の質の向上	●研修のねらい ・専門的な知識やスキルを向上させ、質の高い支援を提供できるよう努める。 ・外部の専門家による研修で得た内容は事業所内で共有し、他の職員も学びを深めていく。 ・事業所内でも、各自の専門性を活かし、質の高い研修を実施。 ・日々のミーティングで療育課題や成果を共有し、意見交換を通じて職員の専門性を高め、チームとして協力しながら支援を進めている。この積み重ねも研修の一環として実践的な学びを深めている。 ●研修の内容 ・言語アプローチ、リトミックの実践、食中毒、ガイドライン読み合わせ、障がい特性、個別支援計画書、児童の人権関係、食物アレルギー
主な行事等	●行事のねらい ・お子様が季節ごとの行事を通じて様々な経験をして、感性や社会性を育むことを目指している。 ・行事を通して、コミュニケーション能力や協力、役割分担を学んでいる。 ・季節行事を通じて、療育専門職が個々の発達に合わせたプログラムを提供し、子どもたちがいつもと違う楽しさや特別な体験を感じながら成長できる支援を行う。 ・季節の変化を感じながら、行事を通じて文化を学ぶ機会を提供する。 ◆季節行事の例◆お正月行事、節分行事、ひな祭り行事、事業所の卒業式、子どもの日の行事、母の日や敬老の日のプレゼントづくり、歯の健康促進イベント、七夕行事、夏祭り、水遊び、ミニ運動会、おにぎりパーティ、秋祭り、ハロウィンパーティー、クリスマス会他 ◆通年のイベント行事例◆お店屋さんごっこなどの各種ごっこ遊び、協同製作、お買い物体験、宝探しゲーム、避難訓練（火災、風水害、地震、不審者侵入などを想定）、入学や入園に向けて必要な社会的スキルを育てるSST		